

### 1 はじめに

熊本市中学校体育研究会では、研究テーマを『自ら運動の喜びや楽しさを求め生涯にわたり健やかな心と体をはぐくむ体育学習の在り方』とし、県中体研・学体研と連携を図りながら授業実践を行ってきた。今年度は昨年度の九州学校体育研究発表大会の振り返りをもとに、新学習指導要領を視野に入れた教育課程の編成や実施上の課題、学習指導の改善と工夫に取り組んだ。また「学びわくわく中学校授業研究会」（熊本市教育委員会・各教科研究会主催）では熊本市内中学校の4校で授業研究会を行った。熊本市養護教諭部会と連携し、養護教諭とのTTによる授業を行い、養護教諭の専門性を生かした授業づくりを目指した。

### 2 研究組織

会 長 新垣 力 (力合)

副会長 栗崎 敬一 (湖東) 大園 隆明 (龍田) 諏訪園 勉 (東町) 金森 勲 (天明)

海津 英孝 (武蔵) 松野 保生 (江南) 元田 晋也 (河内) 南 弘一 (京陵)

星田 正治 (西山)

顧 問 安方 史宜 (市教委健康教育課)

理事長 吉田 明日香 (西山)

副理事長 廣瀬 弘忠 (龍田) 一安 晋太郎 (鹿南) 船津 一真 (植木北) 原 辰徳 (西原)

	校 名	ブロック理事
東	白川・湖東・帯山・東野・錦ヶ丘・二岡・東部・西原・東町・長嶺・桜木	原 辰徳 (西原)
西	藤園・花陵・京陵・西山・江南・三和・城西・井芹・芳野・河内・熊大附属	志水 貴彦 (京陵)
南	出水・城南・江原・託麻・出水南・飽田・天明・力合・日吉・富合・下益城城南	藤野 有美子 (下益城城南)
北	竜南・桜山・楠・武蔵・清水・北部・龍田・鹿南・五霊・植木北	廣瀬 弘忠 (武蔵)

### 3 活動状況

	活 動	内 容
4月	総会準備委員会 市中体連・中体研総会 県中体連・中体研第1回評議委員会	本年度の活動計画・予算案作成・ブロック理事選考 (水前寺共済) 本年度の計画等 (メルパルク熊本) 県活動計画・確認 (松屋別館)
5月	体育優良校、功労者賞推薦委員会 領域別チーフ会	推薦委員会 (泗水中) 担当確認
6月	市中体研評議員・理事合同会議 県中体連総務委員会、第1回理事長会	本年度の研究会計画 (環境センター) 活動打ち合わせ
7月	第1回県南地区実行委員会 県中体研実技講習会・県指導案検討会 第2回理事長会	研修・指導案検討 (河浦中) チーフ会活動確認 (阿蘇プラザホテル) 県版体育実技保健ノート資料収集
8月	第2回県南地区実行委員会	指導案の確認、日程確認、会場設営等 (河浦中)
9月	学びわくわく中学校授業研事前研究会	指導案の確認、日程、指導助言者との打ち合わせ、 会場設営等 (稜南中)
10月	学びわくわく中学校授業研究会 第3回県南地区実行委員会	東町中、植木北中、河内中、城南中 事前打ち合わせ (有明中)
11月	第4回県南地区実行委員会 県学校体育研究発表大会	資料準備、リハーサル (有明中)

1月	第2回県中体連・中体研評議員会	県活動報告・記念式典打ち合わせ（松屋本館）
2月	学校体育功労賞受賞祝賀会 自主研修会 市中体振総会 第4回理事長会 学びわくわく授業研究会担当者会	体育功労者・中体連功労者賞祝賀会（ニュースカイホテル） 授業実践報告会（力合中） 活動報告、研究協議、講演（ネストホテル） 会誌原稿検討（阿蘇西原中） 年間のまとめ、次年度の計画
3月	県中体研会誌発行	

#### 4 研究テーマ

自ら運動の喜びや楽しさを求め生涯にわたり健やかな心と体をはぐくむ体育学習のあり方  
—転移する知識・技能を活用し、探求していくグループ活動の構築を目指して—

#### 5 研究の概要

##### (1) 研究の方法

- ・学びわくわく中学校授業研究会の授業研究・準備・運営・参加・まとめ
- ・熊本県学校体育研究発表大会への参加

##### (2) 研究の柱「学習内容を明確にした指導と評価の一体化」

- 研究の視点
- 視点1 「3年間を見通した具体の評価規準」の検証
  - 視点2 基礎・基本の習得→活用力育成→自ら学び考える力の育成
  - 視点3 言語活動を重視した取組
  - 視点4 健康の保持増進と体力の向上
  - ※ 熊本市授業づくり5つの視点

○学びわくわく中学校授業研究会 10月11日 《 授業内容 ・ 授業者 》

<東> 3年 保 健 健康な生活と病気の予防「性感染症の予防」

授業者 東町中 谷口 太一教諭  
隈部 裕恵養護教諭

<西> 1年 球 技<ベースボール型>「ソフトボール」

授業者 河内中 松村 義和教諭

<南> 2年 陸 上「ハードル走」

授業者 城南中 宮村 直幸教諭

<北> 1年 球 技<ゴール型>「バスケットボール」

授業者 植木北中 船津 一真教諭

#### 6 まとめ

本年度は、昨年度の九州学校体育研究発表大会の授業の反省点をもとに、授業研究を中心に体育領域・保健領域の授業研究・実践を行ってきた。これまでの取組から学習内容の明確化や3年間を見通した授業づくりと熊本市中学校体育研究会の「4つの視点」や「熊本市授業づくり5つの視点」が定着し、内容も充実してきている。また、学びわくわく授業研究会（熊本市教育委員会・各教科研究会主催）では、授業を作り上げていく中で「自ら進んで取り組む体力の向上」と「楽しさを感じる保健体育授業」の2点を中心に研究を行い、熊本市の先生方の意識や研究心も高まった。

体育理論・保健領域では、主体的・対話的で深い学びにするための効果的なグループワークや協働的な活動を積極的に取り入れるとともに、養護教諭と連携し、TTによる授業展開を推進し、学びわくわく授業研究会にて提案授業を行うことができた。

今後は更に本会の先生方の資質向上と指導力を磨き、県中体研と連携を図っていきたい。また、新学習指導要領を見据えた単元構造図の作成や授業実践を行い、熊本市の体育研究を推進していきたい。